

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(GDP(IMF WEO):<http://mylibrary.maeda1.jp/GDP.html>)

(MENA・イスラム圏:<http://mylibrary.maeda1.jp/MenaOicCountries.html>)

マイライブラリー:0407

(注)本稿は 2017 年 4 月 25 日から 5 月 1 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

世界主要国とMENAの GDP 成長率・一人当たり GDP(IMF 2017 年 4 月版)

2017.5.2

前田 高行

目次	頁
1. 2017/18 年の経済成長率	1
2. 前回(2016 年 10 月)と今回(2017 年 4 月)の比較	3
3. 2017年の各国の名目 GDP	3
4. 2017年の一人当たり GDP	4
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2014~2018年)	5

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 4 月版(以下 WEO2017Apr)がインターネット上に公開された。

* URL: <https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2014 年から 2018 年までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2016 年 10 月版(以下 WEO2016Oct)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

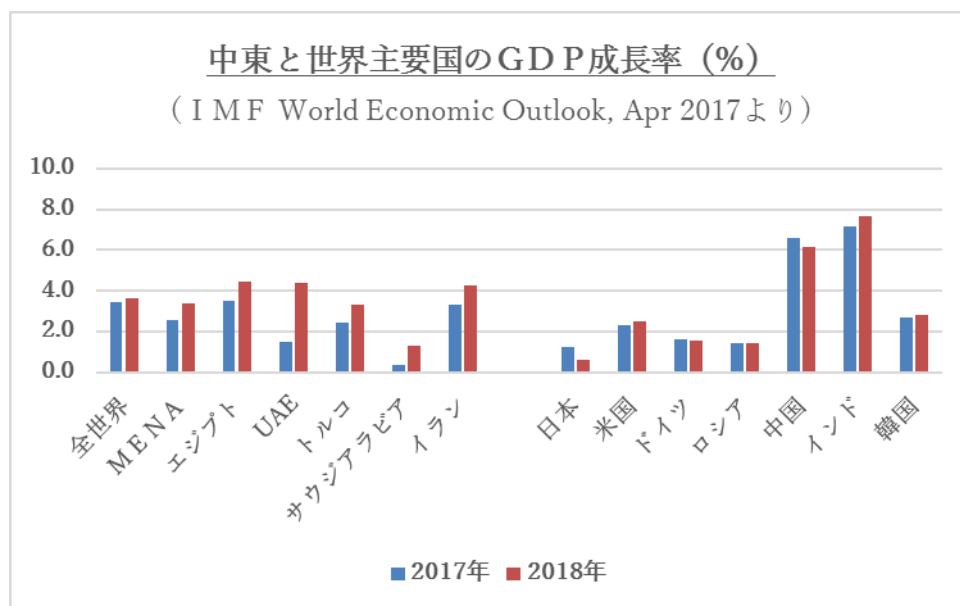
(世界平均を下回る MENA の成長率！)

1. 2017/18 年の経済成長率 (末尾表 1-B-2-08 参照)

(1) 世界および主要地域・国の経済成長率

IMF は今年(2017 年)の世界の経済成長率を 3.5%と見ており、来年(2018 年)は今年よりやや高い 3.6%と予測している。地域別に見ると ASEAN5 か国は 5.0%から 5.2%へと上向き見通しを示し

ており、EU は今年の 2.0%から来年は 1.8%に低下する見通しである。国別に見ると今年より来年の成長率が高い国と低い国が混在しており、日本は 1.2%→0.6%と下向く予想で、米国は 2.3%→2.5%、韓国も 2.7%→2.8%にアップする見込みである。



中国は今年の 6.6%が来年は 6.2%に低下すると見込まれ、同国の成長率の減速傾向に歯止めがかからない状況である。またドイツも今年の成長率 1.6%が来年は 1.5%に落ちると予測され、EU 諸国の景気回復の遅れが見受けられる。

(2) MENA 諸国の経済成長率

IMF によれば MENA(中東北アフリカ地域)の今年の成長率 2.6%に対し来年は 3.4%に上昇すると見込まれているが、両年とも世界平均の成長率を下回っている。国別にみると今年はいラク及びクウェイトの 2 カ国がマイナス成長率(それぞれ-3.1%、-0.2%)であるがその他の国はいずれもプラス成長と見込まれている(シリアはデータなし)。

各国の中でリビアの今年の成長率は 53.7%と際立って高い。IMF の同国の経済成長見通しは毎回大きく上下に振れており、リビア経済を左右する石油の生産量が国内の内戦状況で大きく上下し、また価格面では国際市場動向に左右されるため GDP 成長率が極めて予測困難であることを示している。

MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが 2.5%→3.3%、イランは 3.3%→4.3%、エジプトは 3.5%→4.5%であり 3 か国とも今年に順調に成長し、来年はさらに加速すると見込んでいる。これに対して歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存している GCC 諸国は今年の成長率がクウェイトは-0.2%、サウジアラビアも 0.4%の成長にとどまり、UAE も 1.5%など概して成長率は低く、GCC6 カ国平均では 1.3%の成長にとどまっている。但し来年(2018年)はバハレーンを除きいずれも今年より高い成長率が予測され、6 カ国平均では 2.9%である。

(MENA の多くは前回より下方修正された 2017 年の成長率！)

2. 前回(2016年10月)と今回(2017年4月)の比較 (末尾表 1-B-2-08 参照)

(1)世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2017Apr)の全世界の成長率見通しは今年(2017年)が3.5%であり、来年(2018年)は3.6%である。これに対して前回(WEO2016Oct)の見通しでは2017年が3.4%、2018年は3.6%であり、2017年については前回より0.1%上方修正され、2018年は横ばいである。

2017年の見通しについて国・地域毎に前回と比較すると、国別では日本が0.7%上方修正され1%を超える成長率(1.2%)が達成されると見ている。米国、ドイツ、中国なども0.1~0.4%とわずかではあるが上方修正されている。これに対して韓国及びインドの今年の成長率は前回(2016年10月)の予測よりは0.4%下がっている。また地域別ではEUは1.7%から2.0%にアップすると予測が変更される一方、ASEAN-5は5.1%から5.0%とわずかながら経済が減速すると見られ、MENA地域について3.4%→2.6%とかなり下方修正されている。

来年2018年の予測については全世界成長率は昨年10月の予測と今回の予測は共に3.6%と変わらず、EU、ASEAN-5、MENAについても昨年10月の見通しと殆ど変化がない。国ごとに見ると米国が2.1%→2.5%に見直され、ドイツ、ロシア、日本もそれぞれ+0.2%、+0.2%、+0.1%と上方修正されている。中国の2018年成長率は6.2%で前回10月の6.0%よりも改善されている。一方韓国は3.1%(前回10月見通し)→2.8%(今回4月見通し)と下方修正されている。世界最大のGDPを誇る米国は今年、来年と先進国の中では比較的高い成長率を維持する見通しである。

(2)MENA 諸国

MENA各国の今年の成長率を昨年10月と今回4月で比較すると大半の国は下方修正されている。主要な国ではエジプトが4.0%→3.5%、イラン4.1%→3.3%、トルコ3.0%→2.5%、サウジアラビア2.0%→0.4%といずれも下方修正されており、日米などの先進国に比べMENA諸国の経済は停滞が続くと予測されている。

さらに来年(2018年)の成長率予測を昨年10月と今年4月で比較すると、こちらは上方修正と下方修正が相半ばしている。上方修正された国はイラン(4.1%→4.3%)、イラク(0.7%→2.6%)、クウェイト(2.6%→3.5%)、UAE(3.1%→4.4%)などの各国であり、これに対して下方修正されたのはエジプト(4.8%→4.5%)、モロッコ(4.2%→3.9%)、カタール(3.2%→2.8%)、サウジアラビア(2.6%→1.3%)等の国々である。エジプト及びサウジアラビアは今年及び来年ともに今回4月の見通しは下方修正されており、IMFは厳しい評価を下している。

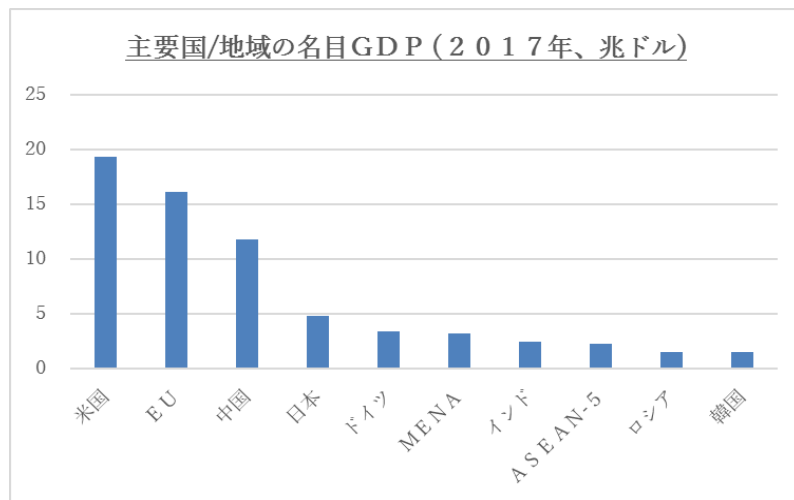
(米国のGDPは全世界の4分の1！)

3. 2017年の各国の名目GDP (末尾表 1-B-2-09 参照)

IMFでは今年の世界の名目GDP(at Current Price)総額を78兆ドルと推定している。地域別ではEUが16兆ドル、全体の21%を占めている。またASEAN5か国は2.3兆ドル(全体の3%)、MENA地域は3.3兆ドル(同4.2%)である。

国別では米国が世界トップの19兆ドルで全世界に占める割合は25%、同国一国だけで世界の

GDP の4分の1を生み出している。米国に次ぐ GDP 大国は中国の12兆ドルであり世界全体の15%を占めている。この2か国が世界でも突出している。第3位は日本(4.8兆ドル)であるが、米国の4分の1あるいは中国の4割にとどまっている。EU の経済大国ドイツの GDP は3.4兆ドルであり、EU 全体の5分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.5兆ドル、韓国1.5兆ドル、ロシア1.6兆ドルなどである。



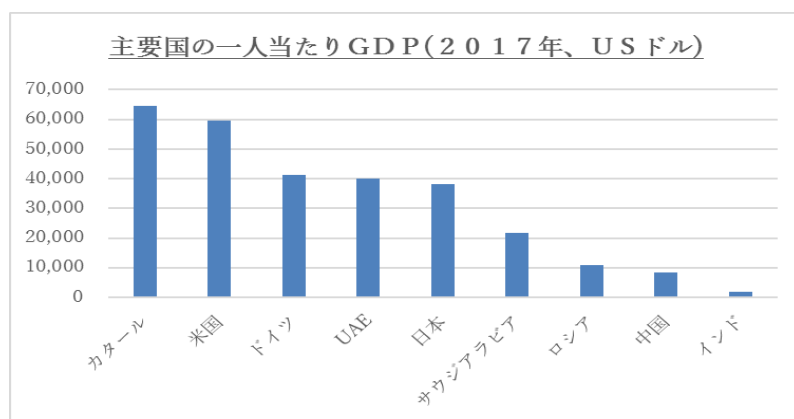
MENA17カ国(エジプト、シリアを除く)の中で2017年の名目GDP が最も大きい国はトルコの7,940億ドルであり、サウジアラビアが7,070億ドルで続いている。この2カ国が MENA の合計 GDP に占める比率はそれぞれ21%と19%であり、両国はMENA 諸国の中では突出している。第3位はUAEの4,070億ドル、第4位イラン(3,680億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの半分程度にとどまっている。

5位以下11位まではイスラエル(3,400億ドル)、イラク(1,890億ドル)、アルジェリア、カタール(共に1,740億ドル)、クウェイト(1,270億ドル)、モロッコ(1,060億ドル)であり、以上10カ国が年間 GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国と遜色のない GDP を誇っている。

GDPが1千億ドル未満の国は、オマーン(710億ドル)、リビア、レバノン(共に540億ドル)、ヨルダン(410億ドル)、チュニジア(400億ドル)、バハレーン(340億ドル)、イエメン(270億ドル)である。MENA で GDP が最も小さいバハレーン、イエメンはサウジアラビア或いはトルコの20分の1程度である。

(MENA で断トツのカタール！)

4. 2017年の一人当たりGDP (末尾表 1-B-2-10 参照)



日本の一人当たりGDPは38,282ドル、米国は59,609ドル、ドイツは41,244ドルである。米国は日本の1.6倍、ドイツは1.1倍である。また韓国は29,115ドルであり、米国の2分の1以下、日本の8割弱である。BRICsと呼ばれる有力新興国のロシア、中国、インドはそれぞれ

れ10, 885ドル、8, 481ドル、1, 850ドルである。インドは今年7. 2%、来年7. 7%と中国を上回る高い成長率が見込まれているが(上記1. 2017/2018年の経済成長率参照)、一人当たりGDPはまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。

MENA 諸国の一人当たりGDPは各国間の格差が極めて大きい。LNGの輸出で潤うカタールの一人当たりGDP64, 447ドルは米国をしのぎ日本の1. 7倍で世界のトップクラスである。MENAで一人当たりGDPが1万ドルを超える国はカタールのほかUAE(40, 162ドル)、イスラエル(39, 126ドル)、クウェイト(29, 240ドル)、バハレーン(25, 495ドル)、サウジアラビア(21, 848ドル)、オマーン(17, 485ドル)およびレバノン(11, 616ドル)の8か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国はGCC諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たりGDPは33, 113ドルに達する。

しかし同じ産油国でありながらイラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たりGDPが5千ドル前後であり、GCCと大きな格差がある。MENAで最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たりGDP(907ドル)は実にカタールの70分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口についてGCC諸国の場合特に注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約270万人(WEO 4月版による)で同国の一人当たりGDP64, 447ドルは同国のGDP(1, 740億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は40万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

(世界の平均成長率は3%台半ばで推移、成長率が低下し続ける中国！)

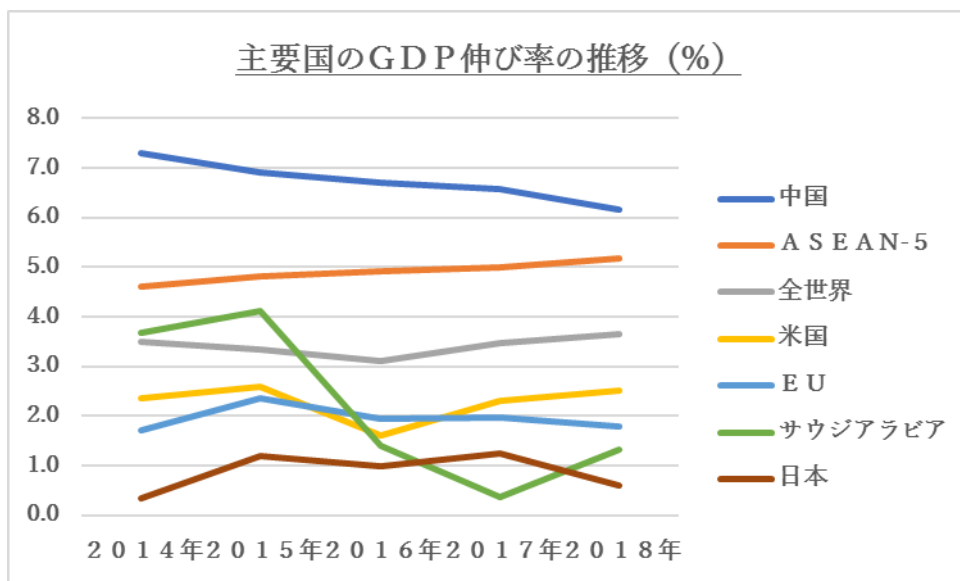
5. 世界および主要地域・国のGDP成長率の推移(2014~2018年)(末尾表 1-B-2-11 参照)

(1) 世界および主要な地域・国

2014年(実績)から2018年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台半ばで推移しており今年は3. 5%、来年は3. 6%とみられている。

地域別で見ると2014年に4. 6%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後他の地域を大幅に上回り、また年々成長率が高まり、今年は5. 0%、来年は5. 2%と予測されている。産油国を

多く抱えたMENA地域は石油価格によって影響を受けやすく2014年の2.8%から2016年は4%近くまで上昇したものの今年は再び2.6%に減速する見通しである。そしてIMFでは来年(2018年)は3.4%に回復すると予測している。



主要国では日本の成長率は2014年の0.3%を底に2015年から2017年までは1~1.2%の成長を続けるが、来年は0.6%に減速、いずれにしても以下に述べるとおりインド、中国にははるかに及ばず、米国、ドイツなどと

比べても見劣りする低い成長率にとどまっている。

米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じて2%前後の成長を維持している。中国は2014年の成長率が7%台であったが、2015年以降は6%台に低下しており、5年間で見ると2014年の7.3%が2018年には6.2%と毎年成長率が鈍化している。これに対してインドは5年間で7.2%(2014年)→7.9%(2015年)→6.8%(2016年)→7.2%(2017年)→7.7%(2018年)と2015年には中国の成長率を上回ると共に5年間を通じて7%前後の高い成長を維持している。ロシアは2015年(-2.8%)、2016年(-0.2%)と2年連続のマイナス成長に陥り、今年、来年は漸くプラス成長(+1.4%)に転ずる見通しである。

(2) MENA諸国

MENAでGDPが最大のトルコは2014年(5.2%)、2015年(6.1%)と高い成長率であったが、その後は成長率は鈍化し2~3%台で推移すると見られている。世界最大の産油国でトルコに次ぐGDP大国であるサウジアラビアの5年間の成長率(実績・予想)は3.7%(14年)→4.1%(15年)→1.4%(16年)→0.4%(17年予想)→1.3%(18年見込み)であり、油価が急騰した2010年代前半のような大きな伸びは期待できず、むしろ最近では低成長が常態化した感がある。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率も3.0%(14年)→3.4%(15年)→2.5%(16年)→1.3%(17年見込み)→2.9%(18年予想)と今年の成長率は5年間の中で最も低い。同じ産油国でもイランは2014年の4.0%から2015年には-1.6%のマイナス成長に陥ったあと、昨年(2016年)は6.5%と比較的高い成長を達成、今年、来年と4%前後の成長が見込まれている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

MENAと世界主要国のGDP実質成長率(2017-18年)

国名	2017年4月見通し(今回)			2016年10月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2017年成長率 (%)	2018年成長率 (%)	増減	2017年成長率 (%)	2018年成長率 (%)	2017年成 長率(%)	2018年成 長率(%)
アルジェリア	1.4	0.6	▲ 0.8	2.9	2.6	▲ 1.5	▲ 2.0
バーレーン	2.3	1.6	▲ 0.6	1.8	1.6	0.5	0.0
エジプト	3.5	4.5	1.0	4.0	4.8	▲ 0.4	▲ 0.4
イラン	3.3	4.3	1.0	4.1	4.1	▲ 0.8	0.1
イラク	▲ 3.1	2.6	5.7	0.5	0.7	▲ 3.6	1.9
イスラエル	2.9	3.0	0.1	3.0	2.9	▲ 0.1	0.1
ヨルダン	2.3	2.5	0.2	3.3	3.8	▲ 1.0	▲ 1.3
クウェイト	▲ 0.2	3.5	3.7	2.6	2.6	▲ 2.9	0.9
レバノン	2.0	2.5	0.5	2.0	2.5	0.0	0.0
リビア	53.7	3.0	▲ 50.8	13.7	7.3	40.0	▲ 4.3
モロッコ	4.4	3.9	▲ 0.4	4.8	4.2	▲ 0.4	▲ 0.3
オマーン	0.4	3.8	3.5	2.6	3.6	▲ 2.2	0.2
カタール	3.4	2.8	▲ 0.6	3.4	3.2	0.0	▲ 0.3
サウジアラビア	0.4	1.3	0.9	2.0	2.6	▲ 1.6	▲ 1.2
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	2.5	3.1	0.6	2.8	3.5	▲ 0.3	▲ 0.4
トルコ	2.5	3.3	0.9	3.0	3.2	▲ 0.5	0.1
UAE	1.5	4.4	2.9	2.5	3.1	▲ 1.0	1.3
イエメン	5.0	13.7	8.7	12.6	7.9	▲ 7.6	5.8
全世界	3.5	3.6	0.2	3.4	3.6	0.0	0.1
EU	2.0	1.8	▲ 0.2	1.7	1.8	0.3	0.0
ASEAN-5	5.0	5.2	0.2	5.1	5.2	▲ 0.1	▲ 0.0
MENA	2.6	3.4	0.8	3.4	3.4	▲ 0.8	0.1
日本	1.2	0.6	▲ 0.7	0.6	0.5	0.7	0.1
米国	2.3	2.5	0.2	2.2	2.1	0.1	0.4
ドイツ	1.6	1.5	▲ 0.1	1.4	1.4	0.2	0.2
ロシア	1.4	1.4	0.0	1.1	1.2	0.3	0.2
中国	6.6	6.2	▲ 0.4	6.2	6.0	0.4	0.1
インド	7.2	7.7	0.5	7.6	7.7	▲ 0.4	0.0
韓国	2.7	2.8	0.2	3.0	3.1	▲ 0.4	▲ 0.2

2017年 GDP at Current Price(2017年4月値)

順位	国名	10億ドル	%
1	トルコ	794	21.4%
2	サウジアラビア	707	19.1%
3	UAE	407	11.0%
4	イラン	368	9.9%
5	イスラエル	340	9.2%
6	イラク	189	5.1%
7	アルジェリア	174	4.7%
8	カタール	174	4.7%
9	クウェイト	127	3.4%
10	モロッコ	106	2.8%
11	オマーン	71	1.9%
12	リビア	54	1.5%
13	レバノン	54	1.5%
14	ヨルダン	41	1.1%
15	チュニジア	40	1.1%
16	バーレーン	34	0.9%
17	イエメン	27	0.7%
	エジプト	n/a	n/a
	シリア	n/a	n/a
	合計	3,708	100.0%
	(GCC6カ国合計)	1,521	41.0%
	全世界	77,988	100.0%
	EU	16,139	20.7%
	ASEAN-5	2,309	3.0%
	MENA	3,264	4.2%
	日本	4,841	6.2%
	米国	19,417	24.9%
	ドイツ	3,423	4.4%
	ロシア	1,561	2.0%
	中国	11,795	15.1%
	インド	2,454	3.1%
	韓国	1,498	1.9%

2017年一人当たりGDP(2017年4月値)

順位	国名	USDドル
1	カタール	64,447
2	UAE	40,162
3	イスラエル	39,126
4	クウェイト	29,240
5	バーレーン	25,495
6	サウジアラビア	21,848
7	オマーン	17,485
8	レバノン	11,616
9	トルコ	9,826
10	リビア	8,438
11	ヨルダン	5,680
12	イラク	5,120
13	イラン	4,526
14	アルジェリア	4,188
15	チュニジア	3,553
16	モロッコ	3,093
17	イエメン	907
	エジプト	n/a
	シリア	n/a
	GCC6カ国平均	33,113
	日本	38,282
	米国	59,609
	ドイツ	41,244
	ロシア	10,885
	中国	8,481
	インド	1,850
	韓国	29,115

(前田 作成)

GDP 対前年伸び率(%、2017年4月値)

国名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
アルジェリア	3.8	3.8	4.2	1.4	0.6
バーレーン	4.4	2.9	2.9	2.3	1.6
エジプト	2.9	4.4	4.3	3.5	4.5
イラン	4.0	▲ 1.6	6.5	3.3	4.3
イラク	0.7	4.8	10.1	▲ 3.1	2.6
イスラエル	3.2	2.5	4.0	2.9	3.0
ヨルダン	3.1	2.4	2.1	2.3	2.5
クウェイト	0.6	2.1	2.5	▲ 0.2	3.5
レバノン	2.0	1.0	1.0	2.0	2.5
リビア	▲ 47.7	▲ 7.3	▲ 4.4	53.7	3.0
モロッコ	2.6	4.5	1.5	4.4	3.9
オマーン	2.5	4.2	3.1	0.4	3.8
カタール	4.0	3.6	2.7	3.4	2.8
サウジアラビア	3.7	4.1	1.4	0.4	1.3
シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
チュニジア	2.3	1.1	1.0	2.5	3.1
トルコ	5.2	6.1	2.9	2.5	3.3
UAE	3.1	3.8	2.7	1.5	4.4
イエメン	▲ 0.2	▲ 28.1	▲ 9.8	5.0	13.7
(GCC6カ国平均)	3.0	3.4	2.5	1.3	2.9
全世界	3.5	3.4	3.1	3.5	3.6
EU	1.7	2.4	2.0	2.0	1.8
ASEAN-5	4.6	4.8	4.9	5.0	5.2
MENA	2.8	2.7	3.9	2.6	3.4
日本	0.3	1.2	1.0	1.2	0.6
米国	2.4	2.6	1.6	2.3	2.5
ドイツ	1.6	1.5	1.8	1.6	1.5
ロシア	0.7	▲ 2.8	▲ 0.2	1.4	1.4
中国	7.3	6.9	6.7	6.6	6.2
インド	7.2	7.9	6.8	7.2	7.7
韓国	3.3	2.8	2.8	2.7	2.8